科目名			簿記概論 Ⅱ (Book Keeping Ⅱ )								
学 年	学 科(=	コース)	単。	位数	必修 / 選	製択 授	業形態	開講時	期終	時間数	
第2学年	経営情幸	<b>股学</b> 科	履修	1単位	_		講義	後期	1 3	80時間	
担当教員	【常勤】 助教	常勤】助教 苗馨允									
学習到達目標											
(1)各種取引の仕訳ができ、主要簿と代表的な補助簿の役割が理解できる。 (2)簿記一巡の流れが理解でき、決算の手続きをすることができる。 科目の到達 目標レベル (3)財務諸表の意味を理解し、実際に作成することができる。											
到達目標 (評価項目)	優れた	:到達レベル 目安	·の   良	.好な到達し 目安		最低限の	)到達レベル 目安	ルの	未到達レ^ 目安		
到達目標	各種取引すべてで	の仕訳が   きる。		<b>値取引の仕</b> 度できる。		各種取引 5程度でき	の仕訳がS きる。		i取引の仕 ない。	訳がほぼ	
到達目標②	でき、決	<b>≪の流れが</b> 算の手続き ∵できる。	がほ でき		-続きが3		4の手続き	が3 でき	!一巡の流 、決算の手 できない。	続きがが	
		に作成する	の意味を理解 財務諸表に 作成すること し、実際に 成すること		3/4程度作し、実際				財務諸表の意味を理解 し、実際に作成すること がほぼできない。		
学習·教育到達目	目標	(C)	1	,	JABEE基準	1(2)		[			
				直成 度	評価(%	5)					
指標と評価割合	方法	中間試験	期末・ 学年末 試験	小テスト	レポート	口頭 発表	成果品	ポート フォリオ	その他	合計	
総合評価割合		40	40	20						100	
知識の基本的な理 【知識・記憶、理解し		0	0	0							
思考・推論・創造へ 適用力 【適用、分析レベル		0									
汎用的技能 【 】			0	0							
態度·志向性(人間力) 【 】											
総合的な学習経験 創造的思考力 【 】	_ <u></u>										

	関連科目,教科書および補助教材
関連科目	簿記概論 I
教科書	「新簿記 新訂版」安藤英義著 (実教出版)
補助教材等	プリント

## 学習上の留意点

簿記概論 I に引き続き、各種取引の仕訳と記帳方法について学習し、決算の意味と手続きに関する知識と技能を習得することによって、簿記一巡の流れについての理解を深める。さらに、より複雑な取引の記帳や決算整理などについても学習し、日商簿記検定3級合格を確実なものにしていくとともに、上級簿記への連携も視野に入れて学習を進める。これによって、企業の諸活動を貨幣金額により客観的に把握する能力の向上を図りたい。

## 担当教員からのメッセージ

簿記概論Ⅱでは、期末における決算を中心として、授業を進めていきます。決算は正確に経営成績と財政状態を計算することに不可欠、また重要な一環です。決算および財務諸表の作成は、簿記概論Ⅰで学習した各種取引の仕訳や記帳に基づいて、行うことです。勉強した内容をしっかり復習する必要があります。

	授業の明細								
0	授業内容	到達目標	自学自習の内容 (予習・復習)						
1	ガイダンス	・シラバスを通じて、学習の意義や授業の進め 方、および評価方法などを理解できる。	適宜指示する。						
2	商品売買取引に関する決算仕訳	・商品売買取引に関する決算仕訳ができる。 ・仕入勘定を通じて、当期売上原価の計算がで きる。	適宜指示する。						
3	掛取引と手形取引に関する決算仕訳	・掛取引と手形取引に関する決算仕訳ができる。 ・貸倒引当金の見積もりおよび会計処理ができる。	適宜指示する。						
4	売買目的有価証券に関する決算仕訳	・売買目的評価損益を理解でき、売買目的有価 証券に関する決算仕訳ができる。	適宜指示する。						
5	固定資産に関する決算仕訳	・減価償却を理解でき、固定資産に関する決算 仕訳ができる。	適宜指示する。						
6	費用・収益に見越しと繰延べ①	・決算にあたって、費用と収益の金額を調整する意義を理解できる。	適宜指示する。						
7	費用・収益に見越しと繰延べ②	・決算にあたって、費用と収益の金額を調整し、当期費用および当期収益を計算できる。	適宜指示する。						
8		中間試験							
9	答案返却·解答解説 試算表	・試験問題の解説を通じて、間違った箇所を理解できる。 ・試算表の種類と特徴、および作成方法を理解できる。	適宜指示する。						
10	8桁精算表①		適宜指示する。						
11	8桁精算表②	・決算整理と8桁精算表の作成ができる。	適宜指示する。						
12	貸借対照表の作成	・貸借対照表の作成ができる。	適宜指示する。						
13	損益計算書の作成	・損益計算書の作成ができる。	適宜指示する。						
14	帳簿組織と伝票会計	・主要簿と代表的補助簿の概要、ならびに伝票と伝票会計を理解できる。	適宜指示する。						
15	答案返却・解答解説 全体の学習事項のまとめ 授業改善アンケートの実施	・試験問題の解説を通じて、間違った箇所を理解できる。 ・全体の学習事項のまとめが理解できる。							
		•							

総授業時間数

30時間